

# 第 5 回 支出を見直す 3 つのポイント

## ①何にいくらかかっているか把握する

特に大きくかかる固定費に注目してみてください。

家賃 or 住宅ローン、車のローンと維持費、保険、通信光熱費あたりでしょうか。見直せるところを見直すだけで月々ではそうでもなくても年単位で見ると意外と大きくなります。

賃貸の場合はまず家賃相場を調べてみてください。相場より高ければ入居後でも交渉可能です。

家賃は交渉を前提に少し高くしている場合が多いのでやる価値はあります。

住む前なら複数の不動産屋で相見積もりして交渉します。

入居時の仲介手数料は法律では 0.5 カ月分ですがほとんどは 1 カ月分になってます。ポッタクリですね。

畳の部屋は退去時に問答無用で交換になるので選ばないように

しましょう（畳交換代が必ずかかる）

クリーニング代の水増しにも注意で、目安は退去費が 5 万を超えるなら不当だと考えましょう。

賃貸でも購入でも不動産は知識のない人からぼったくることが非常に多いので知識と信頼できる業者選びが必要です。これは不動産投資にも同じことが言えます。

車はないと生活が成り立たない人以外は持たない方が賢明です。維持費は相当な負担です。

保険は必要ないものに契約している率が特に高いので見直しましょう。国民健康保険か社会保険に入ってるはずなので民間保険の必要性はほぼないです。

火災保険と対人、対物の損害保険は自分でどうにもならない事態への備えとして入っておくべきです。

掛捨てのシンプルな死亡保険は入っておいて良いでしょう。ネットなら相当安くできます。

注意して欲しいのは特約をつけていくと払われるはずの保険金  
が下りなくなる可能性が高くなります。保険契約の罠です。

保険はこの3つで充分です。あとは国保か社保でまかなえます。

## ②ムダ遣いトリガーを避ける

優先したいことに対して有益な使い方かどうか？を、第1回で  
お伝えした投資マインドの観点から考えてお金を使うように心  
がけましょう。

値が張っても長期的に長持ちする方を選ぶ、つまり値段で選ば  
ず価値で選ぶ方が得します。どこに価値を置くかです。

時間を短縮することが優先だから電車で移動、少し高くなって  
も栄養価優先で白米より玄米を買う、より良い睡眠のために自  
分に合う枕を買う、など目的ありきならば有益なお金の使い方  
を選びやすいでしょう。

衝動的に「欲しい」「安い」で選ぶのではなく、一旦考えるクセ

をつけましょう。

衝動買いはもちろんその場で見て反射的に「欲しい」と思って  
しまうからですが、欲しくなる気持ち自体はなかなか抑えられ  
ません。

そこで、一度離れて冷静になってからそれでも欲しいかどうか  
を考えましょう。

ネットショッピングなら一度他のことをしてから冷静になりま  
しょう。

ここで気をつける点は

「今から一切ムダ遣いをしないぞ」

と意志の力だけでやるとほぼ失敗してしまうことです。

実は意志が強い人なんて特殊です。意志だけで何かをするのは  
無理がありますからできなかったときに自分を責める必要はあ  
りません。

視点を変えて、原因とトリガー（きっかけ）を遠ざけることが

有効な作戦です。

例えばネットショップならメールが来ますね。これを見ないことです。そもそもメールを見なければリンクを開いてサイトを見ることを防げます。

他には、テレビや YouTube の CM によって意識に刷り込みをされていると衝動買いのトリガーになります。

テレビや YouTube はついダラダラ見てしまい時間の浪費にもなりがちです。

猛暑の日にふと入ったコンビニのアイスコーナーで

「ガーリガーリー君🎵」

が頭の中に流れたら食べたくなってしまう。これが意識に刷り込まれたトリガーです。

### **③副業 = 事業をすると最強の節約につながる**

これだけでかなり長い話になってしまうのでくわしいことは副業についてをテーマにした回と一緒に説明します。ここではざ

っただけお伝えします。

副業というところちょっとした小銭稼ぎイメージがあるかもしれませんが、事業というところ大規模そうで、とてもイコールにならないように思えます。

ここでお伝えしたいのは、大きな事業をすることではありません。極小規模でもいいので副業を始めて、事業として開業届を税務署に出すということです。

つまり副業を税制上は事業収入として申告するようにするので

これの何が節約になるかというと、①であえて挙げなかった固定費である税金を下げる方法になります。

支出の中には仕事に関係すること、にして経費扱いにできることがある→経費分が課税所得から引かれる→税金が下がるという感じです。

ざっくり説明しましたが、本業の給与所得と合算できるので経費が使えると節税という形で節約になるということです。

このとき副業の収入より経費の方が多い=赤字でも問題ありません。もちろん黒字になっていけばさらにメリットがあり、最強の節約に近づいていきます。

---

今回は、支出を見直すポイントとして

- ・ 何にいくらかかっているか把握
- ・ ムダ遣いトリガーを避ける
- ・ 副業 = 事業をする

ということについてお伝えしてきました。

---

**お金を**

**守る（知識と情報力）→稼ぐ（本業と副業）→増やす（投資）**

**をサイクルにしていくことが安定運用の基本です。**

お金を守る知識プラス支出を見直して節約の実践をしていきま

す。

次回は、お金以上に貴重な資源 "時間" の管理についてお伝え  
します。

森 ひろき